

令和3年度佐賀大学研究者国際交流支援事業報告書

令和 年 月 日

国際交流推進センター長 殿

下記のとおり報告します。

1. 国際研究集会名	国際セミナー The 2nd International Webinar ~ Young Researchers on Materials Science and Engineering ~		
2. 事業責任者 (申請者)	富永昌人	3. 所属・職 名	理工学部・教授
4. 開催期間	令和 3 年 6 月 30 日 ~ 令和 3 年 6 月 30 日		
5. 参加者数 ※参加者名簿(様式 任意)を添付	参加者数 <u>435</u> 名 うち、 <u>外国人</u> 396 名、 <u>学生</u> 数 不明です 名 (修士課程以上)		
6. 支援金額	金 額 _____ 円		
7. 招待講師	所 属 <u>慶応大学</u> 職 名 <u>博士後期課程3年生</u> 氏 名 <u>Yunita Triana</u> 所 属 <u>スラバヤ工科大学 (インドネシア)</u> 職 名 <u>博士後期課程3年生</u> 氏 名 <u>Kartika Anoraga</u> 所 属 <u>スラバヤ工科大学 (インドネシア)</u> 職 名 <u>博士研究員</u> 氏 名 <u>N. S. K. Gowthaman</u>		
8. 謝金支出額	金 額 _____ 円 (但し、本セミナー開催に協力頂いた、カリマンタン工科大学ならびに佐賀大学の学生への謝金、感謝状のホルダー代として)		
9. 国際研究集会の内容	下記のプログラムで進行した。 1. オープニングセレモニー (カリマンタン工科大学と佐賀大学の紹介) 2. カリマンタン工科大学の学長 Budi Santosa 教授による開催の挨拶 3. 理工学部富永教授による「佐賀大学の紹介とさくらサイエンスプランについての紹介」 4. 招待講師4名による研究発表と質疑応答 5. クロージングセレモニー		
10. 特記すべき成果・波及効果	総計 435 名の参加がありました。参加者の内訳は、91%がインドネシア、9%がインドネシア国外からでした。大学以外の公的機関からの参加者が 48 名いました。常時 400 名前後の参加者が聴講している中で、佐賀大学を紹介できたことは、インドネシアにおける佐賀大学のプレゼンス向上に大きく貢献出来たと考えています。また、講演者の Triana さん、Anoraga さんは、以前に「JST さくらサイエンスプラン」で佐賀大学理工学部短期滞在して共同研究プログラムを実施した学生ですので、本学の本プランの取組についての広報も出来たと思います。参加者の満足度も高く、セミナー全体に対する評価は、62%が Excellent、37%が Good の評価でした。 カリマンタン工科大学と理工学部は、2020 年 1 月に部局間協定を締結しており、今後の恒常		

的な交流の継続が期待されます。

※欄内に収まらない場合、適宜、行を追加し、ページを増やしていただいても構いません。